



八重瀬町

Yaese Town

反響が今後のやりがいになる」とのこと。

みどり食品では、葉酸が豊富で茎まで食べられるカンダバー(芋の葉)やぐしちゃんいい菜や糖度の高い紅芋、ハワイ紅を使ったご当地弁当を試作中。専務の與座永己さんは、「特産品づくりは、継続とみんなでまちづくりをすることが大事。今後は地域独自メニューのレシピを募集し、ご当地弁当の一品に加えたい」と今後の展開に期待を寄せています。

八重瀬にしかない
素晴らしい心気

「農家のお年寄りが子ども達との触れあいで元気になりました」と話すのは、紅芋農家の安里喜美子さん。ぐしちゃん芋生産組合として近隣地域から芋掘り体験を受け入れていきます。「潮風が運ぶミネラルに恵まれた、この地ならではのおいしいものを守りたい」と、質のよい紅芋や新しい特産品「ぐしちゃんいい菜」の栽培に情熱を注ぎます。

県のピーマン生産の六割を占める八重瀬町ピーマンを「誰が作っても同じ品質に統一されていて、肉厚でみずみずしくサラダでも食べられる。多くの県民に食べて欲しい」とアピールするのは、生産部会栽培委員長大田洋さん。定期的に指導することで地域全体

「南国のカラフルベジタブル」で 合併のまち「八重瀬」のブランドづくり

豊富な地域資源で
新しいまちをブランディング

平成十八年に本島南部の東風平町と具志頭村の合併で誕生した八重瀬町。区画整理や道路整備で都市化が進む旧東風平地区と、のどかな田園や海辺の風景が広がる旧具志頭地区で形成されています。

「八重瀬町には肥沃な土壌(島尻マージン)で育ったサトウキビをはじめ、ピーマンや紅芋、オクラやドラゴンフルーツなどの農作物、港川のソデイカやマグロなどの海産物と多くの地域資源に恵まれています。それらを生かした特産品がありますが、それでした」と話すのは、八重瀬町役



各ジャンルのプロが集まったワーキング委員会



「カラフルベジタブル」を育てる農家

の品質向上に努め、誇りを持って特産品開発に食材を提供しています。

「八重瀬町を愛燦燦なまちにした」と上地さんが語れば、新里さんも「誇りを持って我がまちを愛せるように」と瞳を輝かせます。地域ブランドの開発とともに、地域の輝く未来を願う愛情も育まれていました。

「八重瀬町に学ぶ！」
元氣プロジェクトの開発ヒント
今あるものをいかに生かすか、どうシフトチェンジするか
「温故知新」の精神を大切に
自己満足ではなく
「外からの視点を常に持って
ブランディングは長期戦の構えでじっくりと浸透させる
地域づくりは単なるイメージではなく「姿勢」が大事



八重瀬町商工会
☎098-998-4334
URL <http://www.yaese-shoko.net>

場企画財政課の上地良則さん。現在、町商工会を中心に地元で採れた新鮮やかな野菜や果物、「南国のカラフルベジタブル」を活用した特産品開発がスタートしています。また、経営指導員の新里司さんは「合併から三年目の八重瀬町は、まだ確立したイメージがありません。事業を進めながら八重瀬町ブランドを醸成し、町の一体感を高めたい」と特産品開発に意欲的です。

適材適所の開発メンバーたち

特産品開発を支えるワーキング委員会は個性的なメンバー。「海に隣接する八重瀬町は、ミネラルが畑に入りやすい。また、沖繩の強い紫外線で、野菜の抗酸化力が高まります」と科学的な分析やアドバイザーで農業の効率的なシステムづくりを支援する瀧元二さん。五年前に東京から八重瀬町に移住してきました。

福満裕子さんは、「みんなの思いをいかに効果的に発信するかがスクープ(役目)と、テレビやラジオ局勤務の経験を生かしたイベント企画やPR活動を担当しています。このほかに



韓国のお母さんの味を再現した「キムチ」



オクラや紅芋、ドラゴンフルーツなどの地元食材を使ったスイーツ「やえっせ」



「ぐしちゃんいい菜」や「ハワイ芋」を使ったヘルシーなご当地弁当



糖度の高い紅芋「ハワイ芋」



味と品質に絶対の自信を持つ八重瀬産ピーマン

も、県農業改良普及センター技師や農協営農指導員など、十名のメンバーが揃っています。

地元の事業者の方々もプロジェクトに意欲的です。韓国から八重瀬町に嫁いだ俞貞淑さんは「自分を受け入れてくれた町に恩返しをしたい」と、ソデイカとピーマンを使った保存料無添加のキムチを開発。本場のキムチが味わえると好評です。夢工房の平安名陽子さんはオクラや紅芋、ドラゴンフルーツなどを使ったスイーツ「やえっせ」(ブッセ)を開発。「プロジェクトのおかげで地元素材を使った新商品ができた。新商品の



地元素材を生かした特産品作りに取り組む事業者の皆さん

編集後記

先日、那覇市内の某所を歩いていると、木枯らしとともに千円札がひらひらと飛んできました。辺りを見回しても人影はなく、近くの交番に届けました。その翌日、宅配便が届き、中をあけてみると夏に応募した懸賞景品5千円の商品券が。そろそろ年末ジャンボの季節、これはもしかして!?!と期待しています。(momo)

先月、娘の小学校で運動会がありました。学校から前日のうちに各家庭で応援席を確保するようにとの文書が届き、余裕を持って早めに現場に向かったのに現場には既に長蛇の列!運動場の開放と同時に父兄たちが鬼気迫る表情で、猛ダッシュ&場所取りをするその様相はバーゲンセールのソレ以上でした(たこ)

アンケート

「美ら島沖繩」のご感想をお聞かせください。
パソコンはこちら
<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>



沖縄県広報誌
平成21年12月1日発行第33巻12号通巻411号

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
TEL:098-866-2020

●表紙 写真・島袋常貴/
島尻マージの土壌を生かし、
質のよい野菜や芋づくりをする(八重瀬町)

美ら島沖繩